

中間とりまとめに盛り込むべき北海道開発の総合的な取組みについて

中間とりまとめをより国民に理解しやすいものとし、国民的な議論を促進するためには、北海道のオリジナリティーを発揮した今後の北海道開発の取組むべき具体的な施策と進め方について、これを方向性の検討のための素材として盛り込むことが必要と考えられる。

I 北海道開発の取組みの方向性について

国家的課題に貢献し、自立する地域経済社会を形成するため、民・地域力を引き出し、地域を活性化する取組みと、そのための基盤整備を共通の取組みとして捉え、総合的な施策を描いていくことが重要となっている。具体的には、別紙1に示すような総合的な取組みが考えられる。

これらについて、

- 1) 資料2「第I章2北海道開発の取組むべき課題」に対応するための取組みとして、適切な方向性を示しているかどうか。特に、北海道の特性・資源の活用という観点からみて、どうか。
- 2) 国民に分かりやすく示し、議論するためには、どの程度具体的なものとして整理すべきか。

II 北海道開発の進め方について

前段における取組みを進めるにあたり、別紙2に示すような進め方が考えられる。

これらについて、

- 1) 具体的な取組みの効果を十分に発揮させるものとして、適切な進め方となっているかどうか。
- 2) これらの進め方が、北海道のオリジナリティーを十分に発揮されたものとなっているかどうか。

別紙 1 北海道開発の取組みの方向性について

I 時代の潮流の変化を踏まえた総合的な取組み

1 人口減少に対応した自立的地域社会創りに向けた総合的な取組み

① 過疎地域のコミュニティの維持と都市的サービスの持続的提供による地域活力の確保

生産性の向上を期待できる一次産業の集積地や豊かで美しい自然環境を有する過疎地域については、安全・安心で良質な食や、人々に魅力的な自然を提供していくため、付加価値向上を目指す農林水産業・観光産業等を総合的に展開。

過疎地域の住民が、高度医療や高等教育等、必要な都市的サービスを享受できるよう、ITの活用、冬期集住、生活圏域内の拠点都市機能の充実、拠点都市とのアクセスの確保など暮らしやすいコミュニティを持続するための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・ ITを活用した地域振興対策
- ・ 冬期集住など新たな居住形態の創造
- ・ 一次産業の担い手確保
- ・ 拠点都市と過疎地域のアクセス機能の充実

② 資源の域内循環の促進による持続可能な地域経済社会の構築

地域の新たな成長に向け、持続可能な地域経済社会の構築を図るため、地域に存在する特色ある資源・資産・特性を活かし、人、財、資金、情報、技術の域内循環を促進するため、産消協働の取組み、地域金融機能の確保、域内の情報発信による投資の誘引などの施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・ 産消協働などの取組みによる資源の域内循環の促進
- ・ 地域金融機能の確保

2 自然環境、エネルギー問題に対応した総合的な取組み

(1) 環境負荷低減に配慮した資源・エネルギーの有効利用、多様化、ストックの増強に向けた総合的な取組み

① 地球環境負荷の少ない循環型社会の形成

自然環境を次世代に継承することに加え、環境と経済活動の共生という視点にたち、クリーンエネルギーの活用を支援する産業やリサイクル産業などの循環型産業を育成するための施策や、顕在化する地球温暖化等地球環境問題へ対応するため、北海道の森林におけるCO₂吸収源対策の取組

み、都市活動等に伴う排熱等未利用エネルギーの活用、地球環境にやさしい交通体系実現のための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・バイオマス等クリーンエネルギーの利活用
- ・自然環境と共生する農水畜産業
- ・臨海部リサイクル拠点の形成
- ・地球温暖化防止等国民ニーズに応じた多様で健全な森林づくり
- ・雪氷輸送物流システムの構築

② 北海道の水の活用

世界、特にアジア地域の水需給の悪化が予想される中、開発可能で良質な水資源を確保、活用し、世界的な水問題の解決に寄与するための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・北海道の水の価値の定量化
- ・水資源確保、水質浄化対策、水源涵養機能の確保など健全な水循環系の構築
- ・雪を起源とする水資源の活用、物流システムの構築

(2) 良好な自然環境の保全、提供に向けた総合的な取組み

北海道の優位性である豊かな自然環境を保全、提供していくため、北海道らしい個性的な景観の継承、自然共生型流域圏形成、湿地再生などによる自然環境の保全と、その魅力を活用した内外の人々への保養・交流など多様なニーズに対応した自己実現の場、ゆとりと潤いのある空間を提供するための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・オホーツク21（国際的連携によるオホーツク海の環境保全と持続的な開発に関するプログラム）
- ・湿地の再生（釧路湿原、サロベツ、鶴川河口等）
- ・北海道の資源・環境を活用した保養・交流空間の形成

3 グローバル化に対応した総合的な取組み

(1) 食料安全保障に寄与する総合的な取組み

北海道の有する、広大な土地、良質な水資源、冷涼な気候などの優れた資源を活かし、地球規模での食料需給逼迫のおそれに対応するため、農産物の品質・生産性向上及び水資源の確保等による安全な食料の安定的供給のための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・農水産業の競争力強化と食料の安定的確保への対応
- ・安全な農水産物の生産

(2) 国際競争力強化を目指す食の高付加価値化と市場拡大に向けた総合的な取組み

食料基地の形成を主眼とした施策の展開をさらに発展させ、国際競争力ある1次産業のアップグレードを念頭に、農業基盤整備、海洋深層水の利用、食品流通等への新技術の活用など、安全・安心で高品質、高付加価値な食品の生産・加工・流通、輸出の増強を視野に入れた施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・新冷凍技術の活用など食品流通等への新技術の活用
- ・高品質米の安定的生産を確保するためのほ場の大区画化と農地の集積、深水用水など水管理の高度化に対応する生産基盤の整備
- ・市場ニーズに対応した畑地の弾力的整備
- ・生産地と消費地を結ぶ、道路・空港・港湾の輸送効率の改善
- ・マリンビジョン21（水産物の安定供給と水産業の健全な発展のための北海道マリンビジョン21構想に基づき、具体的なアクションプログラムを関係機関や地域住民が連携・協働して策定し、取組みを推進。）

(3) 内外の人々を魅了する観光産業クラスターの形成に向けた総合的な取組み

グローバル化を活かし、アジアをはじめ内外の交流人口を飛躍的に増大させるため、空港機能の向上、北海道新幹線の整備、観光地へのアクセス機能の充実などの施策、豊かな自然空間や快適な自己実現空間を提供するための施策、食・健康など他産業との相乗効果の発揮を促し、競争力ある観光産業クラスターを形成し、基幹産業化するための施策などを総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・来道観光客のための自立移動支援（情報提供）システムの構築
- ・施設の整備、サービスの向上等空港機能の強化
- ・観光地への円滑なアクセスを可能とするネットワーク整備
- ・シーニックバイウェイの積極的展開
- ・旅客船クルージングネットワークの構築
- ・北海道新幹線の整備

(4) 産業競争力向上のための内外に開かれた物流ネットワーク機能の強化に向けた総合的な取組み

四面を海に囲まれた北海道において、北海道の産業の競争力強化等の観点から、貨物輸送の季節的な平準化を進めるなど物流の効率化を図るとともに、各方面とを結ぶ物流ネットワーク機能を強化し、さらに、東アジア、極東ロシアと北米の結節点に位置する特性を活かし、港湾、空港機能の強化により国際物流拠点を整備するとともに、高度化・多様化するニーズに対応するため、シームレスな物流システムの構築などの施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・国際物流機能の充実
- ・シームレスな物流システムの構築
- ・食料貯蔵流通システムの構築

II 自立する地域経済社会の形成に向けた総合的な取組み

(1) オールシーズンのモビリティ向上による経済社会活動の効率化と生活環境水準の向上に向けた総合的な取組み

積雪寒冷地である北海道において、必要となる一定のモビリティを冬期においても確保することにより、物流の安定化による経済社会活動の効率化、生活環境における安全・安心の向上を図るため、主要都市間を結ぶ高速交通ネットワーク整備の推進、定時制、安全性、速達性を阻害するボトルネックの解消、高齢者を含む生活者のモビリティを確保する施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・主要都市間の高速ネットワークの形成
- ・住民との協働による冬期道路環境の確保
- ・北海道新幹線の整備

(2) 内外の人材による北の技術・知的拠点の形成・集積に向けた総合的な取組み

グローバル化に対応し、付加価値の高い国際競争力のある産業の育成と、人材の安定的供給を確保するため、道央圏に集積している研究開発機能の一層の集積強化を図るとともに、研究開発を支える人材の育成、高度な外国人技術者等との交流、企業化を進めるためのベンチャー企業の育成などの施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・独立行政法人寒地土木研究所との連携
- ・研究開発機能の強化等の支援
- ・札幌バレーの集積促進
- ・千歳・苫東の一体的開発
- ・胆振地域等産業拠点の整備
- ・魅力ある住・生活環境整備

(3) 地域の情報化を促進するための総合的な取組み

I T技術を活用し、活力と豊かさにあふれた地域経済社会を形成するため、デジタルデバイドの解決など北海道全域におけるサービス水準の向上や、行政の情報化、公共分野におけるI T化の推進などを図るための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・デジタルデバイド解消に向けた広域情報流通ネットワークの確保
- ・IT産業の育成支援

(4) 周辺圏域に対し持続可能なサービスを提供する拠点的都市機能充実に向けた総合的な取組み

圏域内周辺地域に対しても医療、高等教育等の都市的サービスを提供し、行政、経済、生活の各分野において、地域が自立する屋台骨となる拠点的都市の持続可能性を確保し、提供するサービスに応じた複数都市間の役割分担等の工夫を行い、各都市の住民にとっても暮らしやすい都市構造を実現しつつ、周辺地域との連携を強化するための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・コンパクトシティの形成などによる都市機能の充実
- ・都市部と周辺地域とのアクセス機能の充実

Ⅲ 安全・安心な国土づくりに向けた総合的な取組み

(1) 自然災害への対策の推進を図るための総合的な取組み

① 激化する自然災害への対応

短期間に集中して激しく降る降雨、切迫性が指摘される活火山の噴火や地震とそれに伴う津波など、従来の防災対策だけでは防ぎきれない災害の危険性の高まりに対し、防災事業の推進と併せて、災害発生後の避難、復旧、復興活動を効率的かつ効果的に行うための施設の整備や、災害時の交通確保や避難対策に資する情報の整備など、安全・安心な北海道づくりに向けた施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震をはじめとした地震津波対策の推進
- ・地域との協働による危機管理体制づくり
- ・大規模災害等における緊急救援物資の輸送ルートの確保
- ・ハザードマップの整備や防災情報の共有化
- ・樽前山噴火時の新千歳空港の機能維持及び駒ヶ岳噴火時の函館一道央圏の交通網の確保
- ・安全・安心な北海道を支える防災対策の推進

② 冬期間における災害への備え

北海道においては、特に冬期間における災害への備えを高めていくことが重要課題であり、積雪時の火山噴火や地震などマルチハザードの対応のための施策を総合的に展開。

※具体的な施策例

- ・マルチハザードの時代に対応した防災体制の構築

別紙2 北海道開発の進め方について

- 1 ハンディを強みに替えるポジティブな取組みのため、
 - 積雪寒冷、広域分散社会、大消費地・産業集積地から遠いなどのハンディをポジティブに捉え、北海道の資質を更に高めること
(具体例)
 - ・大自然や雪を活かした観光
 - ・農業の一層の大規模化・効率化
 - ・冷涼な気候及び人材供給力を活かした産業立地の促進
 - ・北方圏諸国等との共通した課題の克服

- 2 投資の重点化・高度化と効率性・透明性の追求のため、
 - 真に必要な重要分野に絞り開発効果の早期発現をめざしたより一層の投資の重点化、スピード感を持った事業の推進
(具体例)
 - ・冬期の生活環境改善への対応
 - ・高次な都市機能の整備
 - ・低位の状況にある社会資本への重点化
 - 北海道のオリジナリティーの高い先駆的、実験的な施策についての積極的な制度設計、北海道の特性にあった基準の提案などの独自の取組み
(具体例)
 - ・北海道スタンダードの導入
 - ・シーニックバイウェイの展開
 - PFIなど民間技術力の積極的な活用、民・地域との連携・協働
 - 成果の達成状況の評価による透明性の確保と、効率性の観点からの計画推進体制の不断の見直し

- 3 多様な主体が共に進める北海道開発のため、国民意見の反映と合意形成及び連携・協働による施策の効果的な実現

具体的には、国民意見の反映と合意形成のため、

- 国民が北海道に寄せる期待を取り込む仕組みづくり

(具体例)

- ・ P I、インターネット等の活用
- ・ 双方向対話型等の意見交換

○人・知恵のネットワーク構築を意識した国民意見の収集と合意形成

連携・協働による施策の効果的な実現のため、

- 北海道開発に関係する多様な主体の計画策定への参画とビジョンの共有
- 計画策定にあたり、地域が主体となって作成した構想を支援する仕組みの導入
- 地域との協働による施策の相乗効果の発揮

4 道内各地域の多様性のある姿の反映のため、

○第6期計画では、道内を6つの地域として捉えているが、グローバル化、人口減少・少子高齢化が進展する中で、資源・特性に応じて地域の果たす機能に着目して地域区分を検討し、我が国に貢献する多様な姿を明らかにすることも有用

(具体例)

- ・ 国際都市機能が集積する道央都市圏
- ・ 一定の人口や産業の集積が維持される都市圏
- ・ 付加価値の高い生産活動が行われつつも人口減少・少子高齢化が進んでいる地域
- ・ 豊かな自然環境を有するが集落の維持が極めて困難な地域

○地域を機能で見ることにより、政策の立案・選択や重点化が行い易く、また、地域が有する特色のブランド化も可能

○地域区分の考え方について、北海道が策定する総合計画との連携、地方制度改革の考え方や区分のわかりやすさにも心がけるとともに、地域住民との広範な意見、議論を基に、方向性を検討することが必要